

「お茶席で 地域とつながる矢島高校」

本事業は、お茶席での地域交流を目的とした、今年で9年目となる活動です。矢島高校では矢島藩主生駒氏と歴史的な関わりのある“遠州流茶道”を学んでいます。矢島には文化財が数多く残っていますが、いくつかの茶会ではそれらを会場として使用させていただいており、歴史や文化に対する地域の方々の思いを実感しています。コロナ禍により、多くの茶会が中止となり、稽古の成果を披露する機会を逸しました。しかし、その中で多くの方々に応援していただき思い出に残る活動ができました。改めて人の温かさと文化に恵まれた矢島の地に感謝したいと思います。令和6年度には矢島小中高連携校のスタートが予定されています。これまで以上に茶道文化を通じて地域とつながりを得られるよう、稽古に励んでいきます。

“活動紹介”

① 「お手前発表茶会」 …令和3年6月13日（八森苑：矢島町城内）

秋田さきがけ 2021年(令和3年)6月17日 木曜日

矢島高校茶道部 3年生、最後のお茶会

「思いやりの心が育った」

由利本荘市の矢島高校茶道部を過した。

部がお茶の作法を披露する「お点前発表茶会」が13日、同市矢島町の矢島歴史交流館・八森苑で開かれた。この日で引退する3年生2人が、出席した学校関係者や地元の茶道愛好家ら約20人をもてなし、ゆつたりとしたひとときを過ごした。

茶道部員は3年の安藤由華さん(17)と畑山麗さん(17)の2人のみ。3年生は例年、6月上旬に秋田市で開かれる「千秋茶会」への出席を最後に引退していたが、新型コロナウイルスの影響で千秋茶会は中止に。2人にとって、今回の発表茶会が最後の発表の場となった。

茶会は2席が設けられ、安藤さんと畑山さんがそれぞれお点前を披露。少し緊張した面持ちで茶席へ運び「お茶をどうぞ」と振る舞った。

出席者は、鳥のさえずりやカエルの鳴き声が響く和やかな雰囲気の中、「大変おいし」と語りながらじっくり味わった。

2人はこれまで、遠州流茶道の工藤貴美子師範(68)から月2、3回、道具の使い方や茶巾のたたみ方などの作法を学校で教わってきた。

畑山さんは「本物の茶室でお茶をたてるのは初めてだったので緊張したが、新鮮で楽しかった。コロナ下でもこういう機会を頂けてありがたい」と笑顔。部長の安藤さんは「茶道を通して人と接する力や思いやりの心が育まれたと思う。卒業まで時間があるので、学校行事などで1、2年生に茶道の魅力を伝えたい」と話した。

(川村巴)



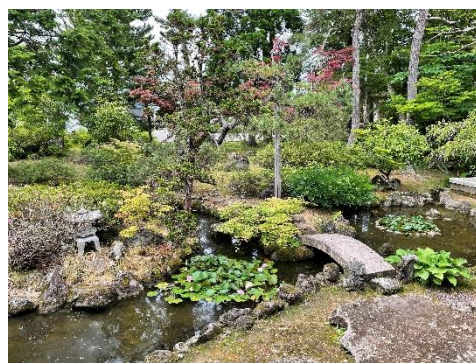
矢島高校の茶道部員が薄茶を振る舞った茶会



お茶をたてる安藤部長

* 秋田魁新報掲載記事

国指定有形文化財でのお茶会です



* 茶会後の記念撮影
遠州流茶道師範工藤貴美子先生と
(前列右から 2 人目)

② 「中学生体験入学部活動見学」 …令和 3 年 7 月 2 9 日



* 立礼席と浴衣でおもてなし



* 浴衣でお手前

③ 「1 年生お茶会体験 (茶道教室)」 …令和 3 年 1 0 月 5 日 (龍源寺：矢島町城内)



* 龍源寺で 1 年生がお茶会を体験



* 1 年生がお手前を体験

④「矢高祭一般公開茶席」

…令和3年10月16日



* 矢高祭の立礼席

お点前と伴頭を交代で務めました

校長先生、教頭先生をご招待いたしました

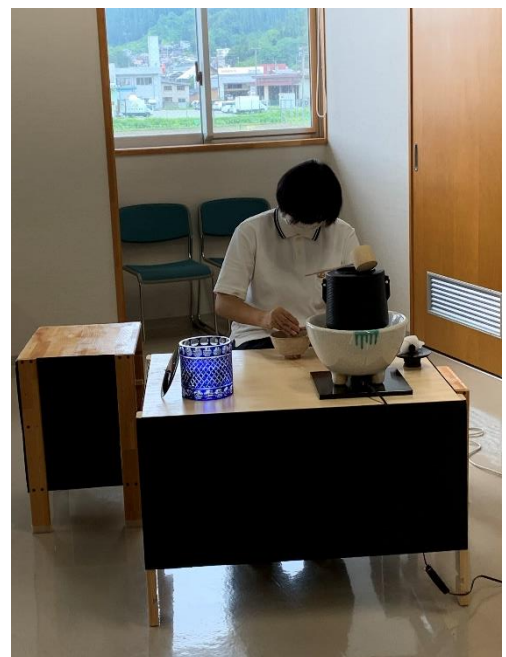
一般客の皆様や、生徒の皆さんにはお手前を見ていただきました

“稽古の様子”



* 2人で頑張りました

少人数の利点を生かし、先生から丁寧な指導をしていただきました



「お茶席で再発見！地域の宝」

本事業は、お茶席での地域交流を目的とした、今年で8年目となる活動です。矢島高校では矢島藩主生駒氏と歴史的な関わりのある“遠州流茶道”を学んでいます。城下町矢島には文化財が数多く残っていますが、いくつかの茶会ではそれらを会場として使用させていただいており、歴史の深さや地域の方々の思いを実感しているところです。昨年度末以来コロナ禍により、「矢島ひなめぐり」「矢島茶会」「千秋茶会」等多くの学びと発表の機会を逸しました。しかしながら、そのようななかでも3年生を労う茶会を企画していただいたことは本当にありがたいことでした。これまでの活動を認めていただいた成果と思いますし、文化財と人財に恵まれた矢島の地に改めて感謝の気持ちが募りました。

例年2月に行われ、矢島保育園・矢島小学校・矢島中学校・矢島高校の子どもたちが一堂に会してお茶席を通じて交流してきた「矢島子ども茶会」(第8回)も今年度は中止となりましたが、今後も続けていくことを矢島学校茶道連絡協議会において確認しました。令和6年度には矢島小中高連携校のスタートが予定されています。これまで以上に地域との交流を深め、茶道文化を通じて地域の宝に光を当てられるよう、これからも稽古に励みたいと思います。

§ 活動紹介 §

① 「3年生を送る茶会」 …令和2年6月7日（龍源寺：矢島町城内）



* 秋田魁新報掲載記事

大きく取り上げていただきました



* 茶会後の記念撮影

遠州流茶道師範工藤貴美子先生と
(前列右端)

②「中学生体験入学部活動見学」 …令和2年7月29日



* 涼しげな夏の道具組みで
見つめられて緊張します（汗）



* 浴衣でパチリ
いつもと違う感じの一枚

③「矢島中学校2年生茶道学習第2回” 行の茶会”」 …令和2年11月12日

（歴史交流館道益苑：矢島町城内）



* 中学生と一緒に運び
石庭も眺められる道益苑の大広間で



* 水屋の様子
準備はタイミングをはかりながら

④「矢高祭一般公開茶席」 …令和2年11月22日



* 矢高祭初の立礼席
お点前と伴頭を交代で務めました



* 床と道具組み
地域の方や同窓生寄贈の品も

§ 稽古の様子 §



* 稽古初め～夏

5月、お盆点てと棚の点前で稽古再開。2年生の新入部員に帛紗や茶巾のたたみ方を教えます。



* 夏休み明け～晩秋

長机も使って立礼で稽古。引退した3年生も顔を出してくれました。



＊初冬～立春

足の運びと床の拝見の様子。お点前も様になってきました。



＊原田栄泉堂（矢島町）さんの生菓子

アマビエ（５月）と鬼（２月）は
季節や時世が組み合わされて



茶席を持ったり茶会に参加したりする機会が多いことも矢島高校茶道部の特色です。新型コロナウイルス感染症が終息し、また学びの場を広げられることを願っています。

「お茶席で広がる地域の和」

茶席で地域交流を目的として始め、今年で7年目となる活動です。矢島城主生駒様と歴史的な関わりのある遠州流茶道を学んでいます。城下町に数多く残る文化財に直接触れることで、歴史の深さを実感しています。

「矢島子ども茶会」（2月開催）を通して矢島保育園・矢島小学校・矢島中学校の子ども達と交流し、年長者としての役割を自覚しこの伝統を後輩に引き継いでいます。また、校内においても、茶道と歴史を学ぶ姿勢を他の生徒に示しています。

§ イベント報告 §

① 「第17回矢島茶会」 令和元年5月12日（日）

＊遠州流茶道の席のお手伝い

＊「矢島茶会ではたくさんのお客様におもてなしをする事が出来ました。中学生と共に活動したことはとても良い経験になったと思います。」（茶道部部長）



お茶の運び方、出し方を矢島中学生と練習
本番のような雰囲気での練習



お盆の持ち方の指導



遠州流茶道師範の工藤貴美子先生（中央）



茶会後のミーティング

② 千秋茶会（遠州流席） 令和元年6月2日（日）

＊高文連茶華道部会研修会もあり、全県から集まった200人超の茶華道部員が茶会に参加して勉強しました。

＊今年は初めて狭山流のお煎茶の席にも入りました。



天気が良く、さわやかな茶席会場で、色々な流派のお点前を勉強できました

③矢高祭一般公開 「茶席」 令和元年 10 月 19 日（土）

＊小会議室で畳の席と椅子席を準備しました。

＊茶席第 1 席 12 時 50 分～



卒業生も同席しています



緊張している中、暖かく見守っていただきました



和菓子やお茶を運びます



水屋も大忙し、先輩も手伝いに来てくれました



部員デザインの和菓子「一番星」



ほっと、一息！

④第7回矢島子ども茶会 令和2年2月1日（土）

平成25年に「矢島学校茶道連絡協議会」が発足し、その取組の一つとして以下のねらいに基づいて「矢島子ども茶会」が開催されています。

（ねらい）

- ・矢島保育園、矢島小学校、矢島中学校、矢島高校で行われている茶道の交流を図る。
- ・自分たちが習っているお茶の作法で、流派を超えて仲良くお茶をいただく。
- ・茶会を通して、相手を思いやるやさしい心を育む。



第7回矢島子ども茶会・第1席遠州流席



お運び（和菓子）の練習



和菓子「春」
原田栄泉堂（矢島町）



毎年恒例の集合写真

⑤第6回やしま冬まつり 茶席 令和2年2月8日（土）

*今年度、やしま冬まつり実行委員からの申し入れで、県立大学院生が企画した茶室で観光客へ茶席のおもてなしをしました。



「山角庵」三畳の小さな茶室



茶室の前で県立大学院生（青）と集合写真

§ 稽古の様子 §



4月 広い和室で稽古（龍源寺）
和室での足の運び等を学びました



校内での稽古の様子です



7月 中学生体験入学・浴衣で稽古



お点前の稽古は緊張しました

*和菓子講習会 7月26日（金）

生徒企画でいつもお世話になっている原田栄泉堂 店主 原田浩司さんを講師にお願いして講習会を行いました。



あんこを包むのが難しかった



羊羹が焦げないように混ぜています



かわいい和菓子ができました



もちろん、一服いただきました

「お茶席で結ぶ郷土の絆」

矢島高校茶道同好会の部員達は、矢島城主生駒様と深いかかわりのある遠州流茶道を学んでいます。お茶席を通して地域の方々と交流することで、視野を広げると共に郷土への愛着が深まる体験をしています。

§ お知らせ §

* 矢島ひなめぐりボランティア・茶席

会場：国登録有形文化財 八森苑（はちもりえん）

～心を込めて一服差し上げます。お待ちしております～

↓H30.3（昨年度）のお茶席（会場：八森苑）の様子です。

平成 31 年 3 月 9 日（土）
10 時 30 分～14 時まで



歴史のあるお雛様の前で一服



茶席の雰囲気を楽しめます

* 矢島高校生が 5 年前から全校でボランティア活動としてガイドやお雛様の説明などを行っています。茶道同好会では八森苑の一角に茶席を設けて、観光で県外から来たお客様や地元の方、小中学生のみなさんをおもてなししています。

§ イベント報告 §

① 千秋茶会（遠州流席）平成 30 年 6 月 3 日（日）

* 高文連茶華道部会研修会もあり、全県から集まった 200 人超の茶華道部員が茶会に参加して勉強しました。

* 第 3 席ではお点前とお運びをさせていただきました。



* 3 年生の男子部員が武家茶道らしく毅然としたお点前を努めました。

②矢高祭一般公開 「茶席」 平成 30 年 10 月 20 日 (土)

* 小会議室で畳の席と椅子席を準備しました。

* 茶席第 1 席 12 時 50 分～

* 茶席第 2 席 13 時 30 分～



和やかな雰囲気での茶室



「お茶をどうぞ」

* 第 6 回矢島子ども茶会 平成 31 年 2 月 2 日 (土)

H25 に「矢島学校茶道連絡協議会」が発足し、その取組の一つとして下記のねらいに基づいて「矢島子ども茶会」が開催されています。

(ねらい)

- ・ 矢島保育園、矢島小学校、矢島中学校、矢島高校で行われている茶道の交流を図る。
- ・ 自分たちが習っているお茶の作法で、流派を超えて仲良くお茶をいただく。
- ・ 茶会を通して、相手を思いやるやさしい心を育む。



第 5 回子ども茶会・第 1 席遠州流席



全体集合写真・子供達と師範の先生



秋田さきがけ平成 31 年 2 月 4 日掲載記事

§ 稽古の様子 §



4月 広い和室で稽古（龍源寺）

8月 夏の稽古（校内）

↑ 遠州流茶道師範 工藤貴美子先生（いつも着物姿で稽古に来てくださいます）



7月 中学生体験入学・浴衣で稽古



8月 校外での勉強（カダーレ茶室）

お点前の復習（カダーレ広間）